

R I 第 2820 地区

THE WEEKLY REPORT

水海道ロータークラブ



本年度クラブテーマ

ENJOY ROTARY

SERVICE Above Self

2005-06 年度 国際ローター会長
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

例会予定

11月9日
外部卓話
11月16日
外部卓話



11月23日
法定休会
11月30日
外部卓話



11月はローター財団月間です

VOL. 43 No.17 (通算No.2057)

2005年11月2日(水)例会プログラム

点鐘
君が代・ローターソング
ビジター紹介
出席報告
SAA報告
諸報告
幹事報告
会長挨拶
卓話 月間に因んで
北村 仁ローター財団総括委員長



左から 孫 洋さん、青木会長、時 亮さん

2005～2006 年度

会長 青木 清人

幹事 熊谷 昇

創立 1963年9月25日

例会場・例会日

〒303-0023 茨城県水海道市宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30～13:30 0297-22-1251

事務所

〒303-0023 茨城県水海道市宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://kinuyou.com/rc/>

本例会でのおもな事項

* 会長挨拶

* 外部卓話

米山奨学生 孫 洋さん、時 亮さん

ピジター

米山奨学生	孫 洋さん
留学生	時 亮さん
ライラ・セミナー参加者	岡本 愛さん
”	飯沼 桃子さん

諸 報 告

ロータリー財団 (斎藤広巳委員長)

来月は、ロータリー財団月間となります。次週より年次寄付を集めさせて頂きたいと思います。宜しくご協力の程お願いします。

社会奉仕委員会(染谷秀雄委員長)

10月23日のグランドゴルフ大会には、10名の会員の皆様に参加を頂き、楽しく大会を終了する事が出来ました。ご協力有難うございました。

1クラブ1プロジェクト企画委員会 (染谷秀雄委員長)

国際交流友の会のバザーに参加することになり、会員の皆様より品物のご協力有難うございました。11月3日にバザーをしておりますので、是非会場にお越し下さい。

新世代奉仕委員会 (福田克比古委員長)

先日、ライラ・セミナーに参加頂きました3名のうち、本日は石塚克己会員のご協力により、2名の方にご報告に来ていただいております。宜しくお願いします。

岡本 愛さん



どんな人達が来ているのか、どんな事をするのか、不安で一杯で迎えたセミナーでした。しかし、2日間を終え、今は充実感でいっぱいです。

今まで、自分の職業や身の回りのことにしか目を向けていなかった自分に気づく事が出来ました。様々な仕事について知り、ニュースでしか聞いた事のない外国の生活の様子を直接聞く事が出来、とても視野が広がりもっと視野を広げたいと思う事が出来ました。

グループディスカッションを通して、相手に自分の思いや考えを伝える事の大切さや難しさを改めて感じました。今までどちらかという自分に関係の無い事や興味の無い事について意見を言ったり、話したりする事を避けてきました。今回のディスカッションのテーマも実生活にはあまり関係するものではなかったため、始めは余り深く考える事が出来ませんでした。しかし、自分の考えを言葉にする事で、相手に伝わり、そして自分の考えや意見に対しての周りの人の考えを知る事が出来ました。その繰り返しで少しずつ頭が柔らかくなり、もっと発言したい、もっと相手の考えている事を知りたい、と考えるようになりました。この経験は、毎日人を相手に仕事をしている私にとって、とても大切な事だと思い、この経験をこれから活かしていこうと思います。たった2日間で、こんなにも沢山のひとと出会い仲良くなれるとは思っていませんでした。このような機会に恵まれた事にとても感謝しています。今回のセミナーで体験した事や繋がりをこれからも大切にしていきたいと思います。

飯沼 桃子さん

今回、ライラ・セミナーに初めて参加させていただきました。ロータリークラブではどのような活動をしているのかわからずに参加したので、不安でいっぱいでした。しかし、講演会やディスカッションの中で楽しみを感じたり、他の業種の方々との交流の中で得るものもたくさんありました。グループディスカッションでは初め

て会った方々と意見を出し合い、聞く、自分の言葉で伝えると言った経験も貴重なものとなりました。私は元来、人前でアガリ症ですが、ロータリークラブの皆さんを前に、こうして体験談を話せることは、ライラでの様々なディスカッションのお陰だと思っております。このような機会を与えていただいた水海道ロータリークラブに心から感謝します。ありがとうございました。



堀越 善行さん・・・超我の奉仕セミナーを受けて

今回、ロータリークラブ青少年指導者育成プログラムを受けるに当たり、多くの講師の方々や同世代の人達から、様々な考え方や意見を聞く事が出来ました。これまで私の中で、「指導者とはどうあるべきなのか」と自問自答したときに、漠然とした、また曖昧な答えしか見つけ出すことが出来なかったが、セミナー受講後、今までの考え方をより明確にする事が出来たと私は思います。それは、単に指導者としてだけでなく、一人の人間として物事を捉えるということです。セミナー期間中、「こころの育成」という講演を聴くことが出来、その中で印象に残ったのが「人と人の思いやり」、「他人を認めると言う事」そして「結果よりもプロセス」です。これらを今までの自分に置き換え考えた時、私は結果等、目に見えるものしか重要視していなかったように思います。しかし、指導者として一人の人間としてそういった事を考え直すことにより、より一層成長するのではないかと思います。「全てにおいて土台は心であり、その上に知識がある」と言う事を念頭に置き、これから生きていくうえでのヒントにしたいと思いました。また、その他に「水保全・国際理解・社会力・識字率向上」というテーマをグループで話し合い、それぞれの意見、考え方を述べる事がありましたが、私を含めグループの意見として全ては「人と人」とか結びついていると言う事になりました。前に述べたとおり、「人と人の思いやり」ということをあげましたが、この事が一番自分を見つめなおした時に考えさせられるテーマです。「人と人の関わり、思いやり」この事を今一度考える事により、指導者としてだけでなく、一人の人間として、将来社会に貢献できるように活かしていこうと思います。

幹事報告 (熊谷 昇幹事)

週報受理 牛久RC、龍ヶ崎中央RC、つくばシティRC、水戸RC、水戸西RC
例会変更通知受理 江戸崎RC 11月3日(木)休会
11月24日(木) 鳩崎小学校(木工教室のため)
石岡87RC 11月17日(木)午後6時より 霞ヶ浦カントリークラブ

会長挨拶 (青木清人会長)



皆さん、こんにちは。

本日は、米山奨学生の孫 洋さん、留学生の時 亮さん、ライラ・セミナー参加者の岡本 愛さん、飯沼桃子さんをゲストに迎えております。ご歓迎申し上げます。米山奨学生の孫 洋さん、留学生の時 亮さんには、この後卓話を宜しくお願い致します。

小泉総理の靖国神社参拝により、日中の外交上の雲行きが怪しくなっておりますが、我々ロータリアン、民間レベルでは何のわだかまりもありません。安心してください。むしろよりよい日本、日本人を知っていただくため我々がエリを正す必要があると思います。さて、先週の公式訪問ご協力有難うございました。萩原ガバナーとも終始和やかな雰囲気の中で進んで行きましたし、褒められる事はあっても、指摘される事などありませんでした。これも水海道RC43年の歴史であり、ガバナー輩出クラブである事が大きいかと思います。

次に、10月23日には、グランドゴルフ大会が行われました。水海道ロータリークラブ主催「第3回ロータリー杯争奪戦」とのことですが、準備はすべてグランドゴルフ協会の方が行ってくれます。初めて参加させて頂きましたが、クラブとして十分に継続事業に値する大会だと思いました。

また、今週末より水海道の文化祭の行事が繰り広げられますが、クラブとしては、

昨年同様青木会員の店舗で“水海道ロータリークラブ情報館”として、ロータリーのPRをパネル展示させていただきます。常駐の必要はありませんが、足を運んでください。10月28日～11月6日まで
11月3日には、国際交流友の会のバザーが開かれます。こちらにも是非顔を出して頂きたいと思えます。1クラブ1プロジェクトの一環です。

最後に、本日例会終了後指名委員会を開催致します。会長エレクトノミニーの選出を行う大事な委員会です。地区からも、RI推奨のCLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)を地区方針できており、来期より委員会組織も大きく変わろうとしています。

外部卓話

米山奨学生 孫 洋さん 「日本での留学生活」



昨日博士学位論文審査願を出して、ついで12月博士論文発表があるのですが、緊張の気持ちが少しリラックスしました。ふと考えてみると、私は来日してからもう5年目を迎えていました。

私は1977年に中国東北地方の遼寧省瀋陽市で生まれ、一人娘として育ちました。両親の開放的な教育方針のもとで自由に、自分の目標を追求し、2000年9月一人で日本にやってきました。最初に研究生として直接的に研究室に入って、日本語を勉強しながら新しい研究を始めました。知り合いも少なく、不安も満ちる毎日でした。一年後、筑波大学院入学試験に合格し、四年間の博士勉強が始まりました。今年4月から米山奨学生になりました。月14万はある方にとってはどうでもない金額であるかもしれませんが、我々留学生にとってはアルバイトしなくてもよく、研究に専心できるものです。皆様の暖かいご支援があったからこそ無事に一つ一つの夢が実現できました。

去年10月米山奨学生に推薦されてから一年間が経っていますが、少しずつ米山奨学生の特徴などを感じました。米山奨学事業は日本のロータリアンが作り育てた国際奉仕プログラムであり、アジアの発展に必要なとされている学問的、技術的指導者の養成とともに、平和を求め日本との架け橋となる人を支援することを願い、外国人留学生を対象とした奨学制度を設立しました。奨学生は単なる経済的な応援をもらうだけではなく、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする世界平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。つまり、『学業』はもちろんのこと『異文化理解、コミュニケーション能力』に意欲のある優秀な留学生を支援します。我々留学生として、日本では知識を学ぶだけではなく、日本の文化や日本人との交流も身につけなければいけません。ということで、米山奨学生の選考が非常に厳しいと思います。成績がもちろん優秀だし、日本語ができないといけません。そのため、米山奨学生は勉強だけではなく、国際親善大使の責任を担って、とても素晴らしい留学生しかできないのではないかと考えております。

次に、ロータリー米山奨学金の何にも優る特長は、世話クラブ・カウンセラー制度です。奨学期間中、ロータリーとの交流における基軸となります。そして世話クラブの会員からカウンセラーが選ばれ、アドバイザー的存在として精神面での支援となります。我々奨学生は世話クラブの例会に参加したり、奉仕活動を共に体験したりすることによって、ロータリー精神を学びます。異国でのこうした経験は、我々留学生のその後の人生において、非常に大きな影響を与えてくれると考えております。私が米山奨学生になってから半年の間、毎月一回しか例会に参加しませんが、水海道クラブの会員の皆様が毎回私に親切的に接してくれたことに感動しました。最初、皆様はどんな人たちなのか？何を話したほうがいいのかを悩んでいた私は、皆様と一緒に食事をするだけでもドキドキしましたが、納涼会に参加させていただいたり、一緒にお酒を飲んだり、喋ったりして、だんだん皆様の前で少しリラックスしてきました。水海道クラブでは素晴らしい人たちがばかりだなと思っております。ここで、特に私のカウンセラー田上さんに感謝します。田上さん

は忙しい仕事の間、ご飯をご馳走したり、コンサートに連れて行ったり、卓話をする前に緊張する私に励ましたりとかいろいろな面倒を見てくださって、本当に私の日本のお父さんみたいだと思います。最後に、米山記念奨学会、また水海道ロータリークラブの皆様から感謝の気持ちを申し上げます。本当に皆様のお蔭で、私は今まで勉強が続けられました。研究の方に専念できたため、今年論文を四部発表しました上に、来年の3月に博士学位を取ることを現在目指しております。

留学生 時 亮さん「日本の留学生活」



生活・・・はじめてきたとき寂しくて、日本語が分からなく、本当に困りました。研究室のみんなと留学センターの先生たちは熱心に手伝ってくれて、だんだん日本語が話せるようになってきました。筑波大学は、有名な異文化交流のできるいいところです。学校の色々活動に参加して、はじめて来た時の慣れない感じが徐々になくなりました。でもつらい事もあります。日中両国では、10倍の収入格差があります。自分の目指す道へ進みたいのですが、生活のため、週3回くらいアルバイトをしなければなりません。勉強と実験が忙しく、またバイトをやりすぎると学業に影響がでます。

勉強・・・現在私は筑波大学の実験病理に癌の浸潤能に関するトランスフォーミング増殖因子 の標的遺伝子の同定の研究をしています。二年間研究して、大腸癌の原因遺伝子を確認するため、一つの腸上皮に特異的に発現する新しい ephrin-A1 トランスジェニックマウスのモデルを順調に製作しました。現在、ephrin-A1 の過剰発現は大腸癌の進展を促進するという英語の論文を書いています。

交流・・・約二千年前から中国と日本の交流は今日に至るまで各分野でさらに広く深く進んでいます。友好の関係は経済発展と文化交流を促せます。これは中国のことをよく知っている日本人たちと私達留学生が努力すれば、中国のことを知らない日本人と日本のことを知らない中国人がお互いをよく理解できるようになると思います。私は茨城県に選抜され、平成17年茨城県親善大使として任命されました。国際交流のため、県内の小・中・高の学校に講師として赴き、積極的に交流活動をしています。

目標・・・卒業した後は国へ帰って、大学の基礎医学の先生になりたいです。学んだ知識を学生さんたちに教えながら、癌に関する研究を続けます。臨床の状況を考察しながら、遺伝子レベルでがんを治療する研究を早く応用できるように頑張りたいです。私は日本にいる間に学んだ医学専門知識または日本語、日本文化、そして留学経験を活用して、中日の友好、国際協力などの役に立ちたいと考えています。

出席報告 (白井 豊委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜 暇	メーク
50名	33名	17名	0名	12名

出席率 90.00%

ニコニコボックス (石塚克己SAA)

- 🚩 残り8ヶ月、ENJOY ROTARY を本格化させましょう。 青木(清)会員
- 🚩 公式訪問ご苦労様でした。 熊谷・五木田・青木(正)・松村 各会員
- 🚩 娘(海小5年)金管バンド、関東大会において金賞受賞しました。11月の大阪全国大会に出場する事になりました。 北村(英)会員
- 🚩 飯沼、岡本様、先日のライラ・セミナーご苦労様でした。本日、ライラ・セミナーの御報告宜しくお願いします。 福田会員

- ✚ グランドゴルフ大会、多少遅れて参加しましたが、自然は、運動は、素晴らしいですね。 横山会員
- ✚ 先日のグランドゴルフお疲れ様でした。良い天気のもと、多数の参加者を迎え、熊谷幹事の技が冴え渡り、素晴らしいスコアでした。また、染谷委員長「ホールイン・ワン」おめでとうございます。

穂戸田会員

- ✚ グランドゴルフで、ホールイン・ワン達成しました。 染谷(秀)会員
 - ✚ 早退します。 瀬戸会員
 - ✚ 遅刻を致しました。 北村(仁)会員
 - ✚ この度、熊谷幹事の愛車で別名「ロータリー専用車・運搬車」を頂きました。 石塚(克)会員
- 入金計 ￥22,000 累計 ￥913,000

ロータリー情報委員会より 一口メモ

米山記念奨学会：1957年11月、東京RCが米山梅吉氏の功績を記念し、“平和日本”の精神で、国際奨学事業を始める構想を発表。翌年から募金を始めた。2005年度は、日本全地区で799人、42カ国の留学生を奨学生として採用、これまでの累計は世界104カ国、12,709人に昇る。

会報委員会 委員長 横山 修 副委員長 山野井周一 委員 根本恒夫

ロータリー情報館

